

# 同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136  
ホームページアドレス <http://www7b.biglobe.ne.jp/reiho/index.html>



## 「氷見ぶり」に思う



同窓会会長代行  
北鹿渡 文 照

この度、会長代行に就任しました北鹿渡です。私には、その任はあまりにも重すぎますが、氷見高校が市内唯一の公立高校として新たなスタートするこの時期、微力ながら細川会長を補佐し、よりよい船出のために尽力させていただこうと、お引き受けしました。どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年末から氷見の寒ブリ漁が好調である。普段、地元においてもブリが捕れたというニュースを聞くばかりであったが、さすがに今年は食卓に載るようになった。うれしい限りである。テレビでも、今やブランド化した「氷見ぶり」を食べ歩く番組がたびたび放映され、氷見もずいぶんメジャーになった。

ところで、ブリは回遊魚なのに、なぜ「氷見ぶり」は美味しいのか。以前、関係者に尋ねたことがある。主な理由は3つ。

1つは、産卵のため南下を始め富山湾を通過する頃のブリは寒さに備えて脂のりきり体に栄養分をたっぷり備えていること（生殖腺はまだ活性化していない）、2つは、定置網で捕られたブリは傷みが少なく、すぐに大量の氷水にしめられるなど処理がよいこと、3つは、漁場が市場に近く朝のうちにセリにかけられること。かくして、脂のりきったキトキトの朝捕れブリをいただくことができるのである。

「有磯の風はさわやかに…連峰雪に輝けば…」懐かしき氷見高校の校歌である。私たちは海の彼方に三千メートル級の山々がそびえる世界でも屈指の景観をもっている。その海には、日本一うまいブリが捕れる。その上、愛すべき、そして、誇り高さ氷見高校で共に学び共に汗した仲間がいる。これらは、すべて私の自慢であり、心のよりどころである。

数年前、「氷見市の教育基本方針」の策定にかかわった。その3本の柱の1本目が「ふるさとに学び、ふるさとを大切に！」である。新たにスタートする氷見高校が、母校に誇りを持ち、ふるさと氷見を愛し、社会に貢献する生徒を輩出することを祈念して、挨拶といたします。

## 新氷見高校の現状について



校長 藤田 栄

同窓会の皆様方には、日頃から本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

早いもので昨年4月に新高校が開設され、もう1年が過ぎようとしております。前の会報誌では新高校の開設準備に係わる状況をご報告させていただきましたが、今回は学校生活の様子や新たな取り組みの一端をご紹介しますとともに、新しく制作した制服と校章についてご報告させていただきます。

と、新しく制作した制服と校章についてご報告させていただきます。

### その1 開校式と入学式

平成22年4月8日(木)、新氷見高校の開校式が石井知事、鹿熊県議会議長、有磯、氷見両校の同窓会長はじめ多数の来賓の方々にご臨席を賜り、挙行することができました。開校式では知事による開校の辞の後、鹿熊議長からの祝辞で式を終え、引き続き行われた入学式では、入学許可・式辞の後、堂故氷見市長から祝辞、生徒代表の誓いの言葉で、無事式を終えることが出来ました。



開校式

### その2 映画「ほしのふるまち」の撮影

原秀則の人気漫画「ほしのふるまち」の映画撮影が氷見市を舞台として行われました。特に、氷見高校では、4月中の土・日を使って、夜遅くまで精力的に撮影が行われました。学園祭や登下校など学校生活のシーンでは、多くの生徒と数人の先生がエキストラとして協力しました。この映画は、東京の進学校で進級できずに氷見の高校へ転校してきた主人公(恒太郎)が、模索・苦悩しながらも“自分が輝ける場所”を求めて成長する姿を描いており、今年3月には全国で公開予定です。この映画が氷見市はもとより、新高校に対するイメージアップにつながればと願っています。



### その3 新高校の新たな取り組み

●目的意識を持った生徒を育てるため、「HIMI学」を立ち上げました。

社会で通用する有益な人材を育成するため、地元氷見の地域産業や文化、その道のプロから学ぶキャリア教育「HIMI学」を立ち上げました。「本物から学ぶ」をコンセプトに、地域の歴史や文化、産業をモチーフに生き方を学びます。

4月21日には、トップランナーゲスト講話(HIMI学の一環)として、経済同友会の中尾会長(インテック会長)による講演会を開催し、「希望や夢をもって生活すること」、「何かをしてもらうのではなく何が出来るのが大切である」など貴重なお話を



扇内先生

を戴きました。また、9月24日には、本校OBの扇内秀樹東京女子医大名誉教授による講演会を開催しました。講演では「人との出会いの中で人生の目標を決めることが大切である」などの話に生徒は熱心にメモをとり、聞き入っていました。

●文理探究コース(2年時から)を開設します。

普通科の1クラスを文理探究コース(文系・理系)として、これまで以上に少人数指導を取り入れ、きめ細かく指導できるようにしました。授業時数は、1日1限50分の7限、週34時間とし、より発展的な学習に取り組み、探究力や論理的・科学的思考力を伸ばせるようにします。また、富士大学や富山県立大学での講義受講(夏期休業中)や課題研究で大学教官等の専門家から指導を受けます。

### その4 学校行事と部活動

6月初旬、県の高校総体が行われました。その結果、自転車部、男女ハンドボール部、陸上部、テニス部、器械体操、水泳部が北信越大会に、さらに、沖縄県で行われるインターハイ(全国大会)には自転車部、男子ハンドボール部、器械体操が出場しました。県大会では、選手一人ひとりがチームが一丸となって自分の力を出し切り、精一杯戦っている姿が印象的でした。

また、6月中旬には、「作りだせ我らの新たな氷高魂」をテーマに運動会が開催されました。どの競技にも生徒一人ひとりが一生懸命取り組み、とても感動的な運動会でした。この姿を是非、地元の中학생や地域の方々に見てもらいたいと思い、地元のケーブルテレビの協力を得て卒業式や入学式、運動会などの学校行事のほとんどを撮影して戴きました。昨年11月には、これらをまとめた総集編を地元ケーブルテレビで放映して戴きました。

### その5 新高校の制服、校章、校歌

#### ○制服について

地元中學生から募集したデザイン画を参考にして、専門業者が制作しました。新しい氷見高校にふさわしい「知的」なイメージで「爽やかさ」を重視しました。男女ともに、ブルーを基調としたカラーリングで知性を感じさせるものです。

#### ○校章について

両校の生徒・教職員から募集したデザイン画(およそ百数十点)を基に、専門家に依頼して作製しました。氷見市唯一の高校となることから、市の花木である「ツツジ」をモチーフとしたものになりました。

#### ○校歌について

平成24年度を目標に検討することになっています。

終わりに、昨今の経済不況の中、先行きが不透明で厳しい今の時代を、生徒一人ひとりが意欲を持ってたくましく生き抜いていくためにも、優れた知性、豊かな心、健やかな体を身につけられるよう、よりよい環境を整えたいと思います。

新高校として始まったばかりで課題も多々ありますが、教職員一同、問題点を1つ1つ克服することで魅力ある学校づくりに努めたいと考えています。皆様方には今後とも本校に対するご支援とご理解、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

### 【新しい制服】



### 【新しい校章】



氷見市で唯一の高校であることから、市の花木であるツツジをモチーフに校章をデザインしました。

5つの花びらは、普通科・農業科学科・海洋科学科・ビジネス科・生活福祉科の5つの学科を表すとともに、本校の教育方針である「学力の向上」「心身の錬磨」「創造力の涵養」「友愛と協調」「進路実現」を象徴しています。

天に向かって大きく花開くツツジの様は生徒たちの未来に向けての飛躍をイメージし、背景の円と

その青い色は、有磯海をはじめとする豊かな氷見の自然の懐にある学校であることを表現しています。

第43回 同窓会総会と懇親会「同窓生の集い」  
平成22年9月23日(木)秋分の日 於：マイアミ

総会は細川同窓会会長の挨拶の後、すみやかに議事が運営されました。

懇親会「同窓生の集い」は100名を超える同窓生が集まりました。楽しい懇親会の様子は氷見高校同窓会ホームページをご覧ください。



## 麗峰グリーン会

氷見高校を卒業された皆様方におかれましては、様々な地域や場面でご活躍のこととお喜び申し上げます。2011年・平成23年度の開催は4月29日(金)・8月16日(火)の予定です。例年、ゴールデンウィークとお盆に開催しており、参加人数は約60人で、会としてはまだまだ参加者を募集しております。県外でご活躍されている方、Uターンで戻られた方、里帰りの方など、この会を利用して、懐かしい顔を合わせてみませんか? 「久々の参加で賞品ガッポリ」、「あいつには負けられない」、「久しぶりどうしてる?」と、ゴルフそっちのけで、その年代年代で様々なドラマが繰り広げられています。皆様の参加を心よりお待ちしております。

その他に「富山県高校OB対抗ゴルフ大会」の氷見高校OBチームのお世話もさせていただいております。我こそはと思われる方、どしどしコンペに参加してチームに入られてはいかがでしょうか。

また、本会は創立23周年を迎え、今まで以上に皆様に喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうか宜しくお願い申し上げます。

2010年・平成22年度の成績

4月29日(木)			8月16日(月)				
優勝	山 多 豊 秋	6位	谷 内 文 夫	優勝	大 熊 詔 八	6位	角 田 美紀雄
次勝	小 橋 賢 治	7位	小 川 俊 彦	次勝	清 水 幸 雄	7位	藤 岡 義 之
3位	出 口 正 男	8位	中 山 圭 三	3位	嘉 山 正 之	8位	窪 田 博 晃
4位	上 田 信 哉	9位	梶 義 明	4位	釣 吉 範	9位	蓑 輪 裕 康
5位	島 越 喜久雄	10位	清 水 幸 雄	5位	関 勝 之	10位	沙 魚 川 睦 夫

詳細につきましてはホームページを御覧ください。 <http://www.e-himi.com/green/>

今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、ご案内とさせていただきます。

麗峰グリーン会事務局 佐 伯 鉄 夫

各年代の同窓会を紹介いたしますので氷見高校同窓会事務局までお知らせ下さい。FAX・メールでもかまいません。

## 関東支部だより

平成22年度 第27回 氷見高等学校同窓会関東支部

総会・会員の集いレポート

第27回「関東支部総会及び会員の集い」は10月16日(土)乃木坂のホテルはあといん乃木坂に於いて開催されました。

第1部の総会は、船木昭二常任幹事(高29回生)の司会で始まり、物故会員のご冥福を祈り黙禱を捧げた後、扇内秀樹会長(高13回生)が「伝統を誇る本会も、毎年出席する人数も固定化し高齢化の傾向にあり、将来を心配している。若い会員の出席を促し、より活性化に努めたい」との挨拶があった。

議事は、平成21年度収支報告を新堂 弘会計幹事(高20回生)、同監査報告を着沢不二夫会計監事(高18回生)が行い、全員が拍手で承認されました。

第2部では、ご来賓の紹介とご挨拶を頂きました。

北鹿渡同窓会長代行からは同窓会本部の事業計画と活動状況についてご報告、22年度の役員改選で会長代行制度を設けた経緯をご説明いただきました。関東支部の盛大な同窓会に感謝していました。

藤田校長先生からは平成22年度の大学入試が近年ではすこぶる良く、特に国立大学への合格が多かったが、一方就職については相変わらず厳しい状況が続いている。

部活では、自転車競技で高校総体2位になったのを始めとして、ハンドボール、水泳、陸上競技、器械体操、吹奏楽等で好成績をあげたとのお話がありました。

また、今年から母校の卒業生を招いて、在校生にお話をさせていただく計画をし第1回は扇内会長にお話して頂いたところ好評だったと挨拶がありました。有磯高校との合併も色々苦勞しながらも着々と進んでいるように見受けられました。

氷見市教育委員会の山口様からは昨年に引き続き「ふるさと応援寄附金」の依頼がありました。事業メニューは「保健医療の充実」「環境保全」「観光・地域産業の振興」「教育環境の充実」です。「氷見高校の支援にもつながるので、ふるさと氷見を応援してください」とのご挨拶でした。

第2部の締めは、大橋東京氷見会会長のご挨拶、東京氷見会の活動状況、事業計画等の説明があり、「積極的に会に加入して欲しい」とのお話がありました。

第3部懇親会は市田 稔顧問(高2回生)の乾杯のご発声で賑やかに開宴となりました。ホテル自慢のバイキング料理を賞味しながら酒を酌み交わし、あちこちのテーブルでは近況の交換や、懐かしい学校生活の思い出など、たちまち和やかに親睦の輪が広がりました。

「恩師と語る」コーナーは本年は中村宏進先生です。昭和38年～48年の10年間国語を教えていただきました。先生からは、大伴家持が残した歌で氷見にまつわる和歌が沢山あり、氷見はこの事をもっと誇りにして県外にPRし、さらには市の活性化を図るべきではないか」とのお話でした。また、

当時(昭和45年頃か?)県内の高校で長髪を許可された高校はただ一枚のみだった。ある時、生徒会からの要望で校長に掛け合い許可された。氷見高校の長髪許可が県下でも早かった事も懐かしくお聞きしました。

続いて、今夏「海を渡った富山藩の能面」を出版された胡桃正則様(高5回生)より能面の多くがロシアの博物館に保存されている等本の内容の一部の説明があり、会場内でも本の即売会がありました。

また、29回生鎌仲ひとみ監督の映画「ミツバチの羽音と地球の回転」が完成し、2011年2月から各地で公開されるとの説明がありました。

賑やかな歓談の中、真咲杏子(浜本京子高20回生)さんの「シャントンの調べ」ではご本人は足の怪我を押して松葉杖での強行出場を頂き、会場の音響効果は今ひとつという、プロの歌手には若干厳しい環境の中素晴らしい歌声を聴かせていただきました。

会場の賑わいも最高潮に達した頃、例年恒例のビンゴゲーム大抽選会が船木常任幹事(高29回生)の司会で開かれ、会員有志から提供された景品や江政商店さんから提供いただいた氷見の物産を中心とした景品の獲得をめざし場内は大いに盛り上がりしました。

楽しい宴も残念ながら所定の時間となり、藤田校長と、扇内会長による万歳三唱とエールの交換を行い、懐かしい校歌を声高らかに斉唱しました。

伏脇忠昭副会長(高15回生)の閉会の挨拶で次回は会員の縦・横の連絡を密にして大勢の参加を期待し、「今年の倍の広い会場を準備する」と意欲的な閉会の言葉がありました。

今年も同窓会本部からいただいた「蒲鉾」、J A氷見からの「コシヒカリ」やビンゴ景品、氷見物産など袋いっぱいにして散会しました。



乾杯の音頭をとる市田顧問



恩師 中村先生

## 関西支部だより

《創立25周年を祝って総会・懇親会を開催》

関西支部会では平成22年4月18日、藤田栄氷見高校校長、細川勝行同窓会会長、中山光広氷見高校教諭、窪田豊之有磯高校同窓会関西支部会会長らのご来賓の臨席を得て、第26回総会・懇親会を、J R大阪駅のホテルグランヴィア大阪で開催しました。



当支部会山崎会長から、ご来賓の皆様への謝辞、出席会員及び25年間会を支えて下さった関係者へのねぎらいの言葉がありました。また、会長に選ばれたからには一生懸命頑張りたい、高校時代の一日と比較して、還暦を迎えた現在の一日の過ぎ去るスピードが非常に早く感じられる、一日一日を大切に生きたい、と話されました。

細川会長からご祝辞を賜りました。ごんごん祭り、外国人も参加のまるまげ祭り、朝日山の桜の話などを伺いました。有磯高校との統合の一番の問題「校名」が氷見高校に決まったいきさつについて、有磯高校及び同窓会の寛大なご判断のお陰だと明かされました。

藤田校長からご祝辞を賜りました。4月8日に新氷見高校の開校式、引続き入学式が行われ普通科4クラス、ビジネス科1クラス、生活福祉科1クラス、農業科学科・海洋科学科1クラスの合計7クラス280名と県内でも最大規模の高校になったこと、文理探究コース・キャリア教育の充実・進学状況・中学への働きかけのこと、氷見が舞台の映画「ほしのふるまち」の撮影が氷見高校で行われ、生徒達がエキストラで出演したことなどをお話いただきました。

創立25周年を迎えて、本会の創立者の一人である鳥越顧問(初代会長)より、当会発足のいきさつや苦勞話等をお話いただきました。

懇親会では、ご来賓や会員の楽しいスピーチ、と、米田美智子さんの日本舞踊(飛梅の賦)、狩野正弘さんの謡(高砂)、カラオケ、お楽しみ抽選会などで楽しいひとときを持ちました。

《第二十七回グルメの会》

11月28日、宝塚苑で、関西支部会第27回グルメの会を開催致しました。美しい自然に恵まれた豪邸で、おいしい和食をいただきながら楽しく語らいました。

《会報雷鳥一号の発行》

関西支部会では毎年会報を発行しております。3月末に26号を発行します。氷見高校からの近況報告、会員の随筆、関西支部会の活動状況、氷見のトピックスなど情報満載です。

関西支部会は本年5月15日に第27回総会・懇親会をホテルグランヴィア大阪で開催します。関西在住の皆様のご出席をお願い致します。

(関西支部会事務局記)

## 「女子U-16 第14回 日韓スポーツ交流に参加して」

1年6組 森 優 稀

私は、昨年九月に韓国へ行き、日韓交流をしてきました。初めて韓国チームと戦うことに最初は緊張していましたが、日韓交流を終えてみると将来の自分のためになるいい経験が出来てよかったと思います。

韓国チームは思っていたとおり、一人一人の個人能力が高くてレベルの高いプレーが多く見られました。韓国チームに自分のプレーがどれだけ通用するか練習試合で試すチャンスだと考え、思いっきりプレーしました。自分の持ち味であるカットインや、速攻で点数がとれ、「いける」という自信が芽生えました。最終日には公式試合をしました。しかし、結果は負けてしまい自分の精神的な弱さと技術の差を痛感しました。

私の夢は、日本代表のハンドボーラーになることです。そのためには、まだまだ練習が足りないのでより高度な技術を身につけられるように、これからの練習に取り組みたいと思います。



### 平成22年度部活動等の主な結果

#### <ハンドボール>

- 平成22年度北信越高等学校体育大会ハンドボール競技
  - 男子の部 出場
  - 女子の部 出場
- 平成22年度全国高等学校総合体育大会 男子の部 出場



- 平成22年度全国高等学校ハンドボール選抜大会 第34回北信越予選大会
  - 男子の部 出場
  - 女子の部 出場

#### <自転車>

- 平成21年度全国高等学校選抜自転車競技大会
  - 3km個人追い抜き 第3位 近谷 涼
- 平成22年度北信越高等学校体育大会自転車競技
  - 3km個人追い抜き 第1位 近谷 涼
  - 1kmタイムトライアル 第2位 近谷 涼
  - ロードレース 第2位 近谷 涼
  - 4km速度競走 第1位 谷本 奨輝
  - スクラッチ 第7位 谷本 奨輝
- 2010年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会
  - 3km個人追い抜き 第3位 近谷 涼
- 平成22年度全国高等学校総合体育大会自転車競技
  - 3km個人追い抜き 第2位 近谷 涼
  - 4km速度競走 出場 谷本 奨輝
- 第65回国民体育大会自転車競技
  - 少年男子個人ロードレース 第4位 近谷 涼
  - 1kmタイムトライアル 出場 谷本 奨輝
- 平成22年度全国高等学校選抜自転車競技大会
  - ケイリン 出場 岡田 徹也
  - スクラッチ 出場 谷本 奨輝



#### <陸上競技>

- 第14回北信越高等学校新人陸上競技大会
  - 円盤投げ 出場 川崎 智将
- 第54回北陸陸上競技選手権大会
  - 女子の部 4×400m 出場 宮下 綾乃
  - 長谷川 舞
  - 青 由貴
  - 浜田 明梨

#### <器械体操>

- 平成22年度北信越高等学校体育大会体操競技
  - 出場 田口 晶子
  - 出場 藤重明香里
- 平成22年度全国高校総合体育大会
  - 出場 田口 晶子
  - 出場 藤重明香里

#### <吹奏楽>

- 第38回富山県吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞
- 第51回北陸吹奏楽コンクール 高等学校B部門 銀賞

#### <理科>

- 第54回日本学生科学賞富山県審査委員会
  - 優秀賞 柴田 亮介
  - 嶋 栄徳
- 第23回大谷科学賞 受賞
- 第22回富山県高等学校自然科学部研究発表会
  - 生物部門 優秀賞

#### <その他>

- 第59回学生ユネスコ弁論大会
  - 高等学校の部 第1位 川幡 真子
- 第27回全商英語スピーチコンテスト富山県大会
  - スピーチ部門 最優秀賞 小山 りか
  - スピーチ部門 優秀賞 栗山 拓海
  - レシテーション部門 優秀賞 竹岸絵里奈
  - レシテーション部門 優秀賞 廣瀬優加史
  - スピーチ部門 奨励賞 小澤 梨紗
- 平成22年度非行防止標語コンクール
  - 高校生の部 最優秀賞 辻口 詩帆
  - 優秀賞 竹岸絵里奈

#### <バレーボール>

- 第11回北信越高等学校新人大会 女子の部 出場

#### <ソフトテニス>

- 平成22年度北信越高等学校体育大会ソフトテニス競技
  - 出場 細口 祐輔・藤井 純基

#### <水泳>

- 平成22年度北信越高等学校体育大会水泳競技
  - 出場 武田玲伊奈
  - 出場 川幡 真子

出場  
決定!

- 平成22年度全国高等学校選抜自転車競技大会
  - 3月26日～
  - 於 福岡 小倉メティアドーム TR (トラック)
  - 熊本 山鹿市特設コース RD (ロード)
- 平成22年度全国高等学校ハンドボール選抜大会
  - 3月25日～ 於 岩手
  - 男子ハンドボール部 **アベック出場決定!**
  - 女子ハンドボール部

応援よろしくをお願いします

□進学・就職状況

平成22年3月卒業生の進学・就職状況は次のとおりです。

●進学

〈大学・短期大学等合格者数〉

年 度	学科	大学等			短大			大 学 校	専 門 学 校	全 体 合 計
		国 公 立	私 立	計	国 公 立	私 立	計			
平 成 2 1 年 度	普通科	40(4)	102	142(4)	4	16	20	6	34	202(4)
	商業科	1	11	12	0	9	9	0	6	27
	計	41(4)	113	154(4)	4	25	29	6	40	229(4)

・主な進学先（4年制大学）

- 国立大学… 東北大、名古屋大、金沢大、新潟大、富山大、北海道教育大、山形大、群馬大、埼玉大、信州大、静岡大、岐阜大
- 公立大学… 富山県立大、青森公立大、新潟県立大、都留文科大、尾道大
- 私立大学… 明治大、法政大、日本大、東京農業大、帝京大、神奈川大、富山国際大、中京大、金沢工業大、日本福祉大、立命館大、関西大、関西学院大

●就職

〈学科別状況〉

	男子	女子	計
普通科	0	0	0
商業科	6	8	14
計	6	8	14

・就職先

- コマツキャストックス、アスティホリエ、三和製作所、タカギセイコー、磐城産業、氷見伏木信用金庫、氷見市農業協同組合、エルダーヴィラ氷見、加賀屋サービス、氷見観光開発シートピア氷見、きくら美容室

## 同窓会員名簿平成23年度版が、 来年1月下旬発行に向けて作成作業がはじまります。

今回発行となる平成23年度版は、旧制氷見中学第一回生から平成23年3月の氷見高校第64回卒業生まで創立以来85年間、会員総数2万4千有余名を掲載する富山県立氷見高等学校同窓会名簿の最終版となります。

なおこれまで、同窓会名簿に関する苦情やトラブルの情報が事務局に届いていますのでご注意ください。

第一点目は、名簿作成賛助金や広告掲載にご協力頂いた方には名簿が一冊進呈されますので、改めて購入のご予約をされる必要はありません。

第二点目は、氷見高校同窓会が指定する(株)サルト以外のいかがわしい業者が、同窓会名簿や紳士録等を作成すると称し、特に会社経営者や医師、官公庁や団体の幹部の方々に広告掲載や購入の勧誘があり、金銭的被害に遭われたという方もおられます。

ご不審なことがございましたら、事務局までご連絡なくお問い合わせ下さい。

**決定!**

### 第44回 同窓会総会・懇親会 「同窓生の集い」

平成23年9月18日(日) 11時  
於：マイアミ

皆さんの参加をお待ちしています。

### 【事務局だより】

昨年12月、新執行体制による初の正副会長会議が開催され、我々の母校が閉校となった以降の氷見高校同窓会についてご協議いただき、

- ①現有磯高校同窓会および氷見高校同窓会と、新氷見高校同窓会との関係をどうするか、今後、すみやかに両校役員等をはじめとする関係者が相談し具体化していく。
- ②そのため、新氷見高校生およびその保護者、PTA役員との協議を行う。

以上の方針が確認されました。今後、平成25年3月に氷見高校を卒業する生徒達への対応が適切に行えるよう、現在の両校同窓会で協力していきたいと考えています。

新しい氷見高校もまた、我々母校の文武両道の校風と輝かしい実績や伝統、そして有磯高校の地域貢献、実学尊重という校訓を受け継ぎ、在校生には国際社会や各界のリーダーとして、また地域社会や地元経済、産業の担い手として有用な人材に育つよう、そして意欲を持って逞しく生き抜いていく基礎となる優れた知性と精神、そして強靱な身体をつくるために、勉学および部活動に懸命に頑張ってもらいたいと考えます。

市内唯一の高校となった新氷見高校は、我々氷見市民の子弟の大半が進学する高校であり、一市民としても、同窓生としても、母校の発展に向けた物心両面の支援とエールをおくり続けて行かなければなりません。

また同窓会第一の目的である会員同士の交流親睦について、細川会長より、「関東支部や関西支部を見習って盛大な楽しい『同窓生の集い』をやるように」という厳命のもと取り組んでまいりました。

過去二回の総会並びに「同窓生の集い」は、何とか関東支部を上回る100名余りのご参加を頂き、誠にありがとうございました。

今後も同期やクラスメイト同士、誘い合って気軽に一つのテーブルを囲み会える、幹事不要のお手軽ミニ同窓会、ミニクラス会としてご利用頂くことができる「同窓生の集い」として定着するよう鋭意努力してまいります。

同窓会員諸兄のご指導ご鞭撻、並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。